

4.2 平成15年度シンポジウム

当プロジェクトでは、下記の要領でシンポジウムを開催した。

平成15年度・大都市大震災軽減化特別プロジェクト・シンポジウム

- テーマ 震動台活用による構造物の耐震性向上 -

主 催：文部科学省 共 催：独立行政法人 防災科学技術研究所

日 時：平成15年8月22日（金） 9:30～17:00

場 所：防災科学技術研究所 研究交流棟

プログラム

【午前の部】9:30～12:30 テーマの全体概要報告と討議（和達記念ホール）

司会：佐藤正義（防災科研）記録：井上貴仁（防災科研）

- | | | |
|-------------|-------------------------|--------------------------------------|
| 9:30～9:35 | 開会挨拶 | 渡辺 正実（文部科学省研究開発局地震・防災研究課 防災科学技術推進室長） |
| 9:35～9:40 | 片山理事長挨拶 | |
| 9:40～9:55 | 大大特及びE - ディフェンスの概要 | 早山 徹（防災科学技術研究所） |
| 9:55～10:10 | E - ディフェンス運用体制及びシステムの整備 | 佐藤 正義（防災科学技術研究所） |
| 10:10～10:35 | 鉄筋コンクリート建物実験 | 壁谷澤 寿海（防災科学技術研究所・客員研究員） |
| 10:35～10:45 | 休憩 | |
| 10:45～11:10 | 地盤・基礎実験 | 時松 孝次（防災科学技術研究所・客員研究員） |
| 11:10～11:35 | 木造建物実験 | 坂本 功（防災科学技術研究所・客員研究員） |
| 11:35～12:00 | 三次元震動台シミュレーションシステムの整備 | 梶原 浩一（防災科学技術研究所） |
| 12:00～12:30 | 三次元地震動データベースの整備 | 工藤 一嘉（東京大学地震研究所） |

【午後の部】13:30～17:00 RC建物実験、地盤基礎実験、木造建物実験の成果報告及び討議

Session 1: RC建物実験（和達記念ホール）

司会：壁谷澤 寿海（防災科学技術研究所・東京大学地震研究所）記録：松森 泰造（防災科学技術研究所）

13:30～14:20 （発表10分＋質疑3分）×3＋予備10分

RC造連層耐震壁、基礎梁、杭の地震時相互作用を考慮した終局時破壊機構の解明

坂下 雅信（京都大学大学院生）

歪速度効果を考慮した鉄筋コンクリート造柱部材の三次元解析モデルの開発

田上 淳（鹿島建設 技術研究所）

実大鉄筋コンクリート建物の三次元動的解析のためのコンクリート構成モデル

長谷川 俊昭（清水建設 技術研究所）

14:20～15:00 （発表10分＋質疑3分）×3

鉄筋コンクリート造耐震壁の動的破壊実験

松井 智哉（東京大学大学院生）

RC耐震壁の動的復元力特性のモデル化に関する研究

秋田 知芳（豊橋技術科学大学大学院生）

鉄筋コンクリート建物の三次元動的解析システムの開発 - 耐震壁部材モデル -

陳 少華（防災科学技術研究所）

15:00～15:15 休憩

15:15～15:30 (発表12分+質疑3分)

耐震壁立体フレーム構造の擬似動的実験計画

斉藤 大樹 (建築研究所)

15:30～16:00 (発表24分+質疑6分)

耐震壁立体フレーム構造の振動台実験

加藤 敦 (防災科学技術研究所)

16:00～16:30 実大実験計画ほか、自由討論

Session 2: 地盤・基礎実験 (セミナー室1)

司会・記録: 井上 貴仁 (防災科研)

13:30～14:30 (実験: 発表20分・質疑10分、解析: 各発表10分・質疑5分)

地盤 杭基礎 構造物の三次元非線形動的相互作用 (実験と解析)

毛利 栄征 (農業工学研究所)、八幡夏恵子 (鹿島建設)、鬼丸 貞友 (竹中工務店)

14:30～15:30 (実験: 発表20分・質疑10分、解析: 各発表10分・質疑5分)

側方流動に対する基礎の破壊メカニズムの解明 (実験と解析)

田村 敬一 (土木研究所)、洞岡 良介 (東北大)、フィリップス ミシロ (基礎地盤)

15:30～15:40 休憩

15:40～16:40 (各発表15分、質疑5分)

地盤・基礎構造の耐震性向上のための新技術、新工法の開発

船原 英樹 (大成建設)、本多 剛 (地盤工学会・東大)、鈴木比呂子 (東京工業大学)

16:40～17:00 (発表15分、質疑5分)

E - ディフェンスを用いた実験計画と施設整備

佐藤 正義 (防災科研)

17:00～17:15 全体自由討議&まとめ

時松 孝次 (東京工業大学)

Session 3: 木造建物実験 (セミナー室2)

全体司会: 箕輪 親宏 書記: 西山 誕生 (防災科研)

13:30～13:35 はじめに

13:35～13:45 木造建物実験の全体像

五十田 博 (建築研究所)

13:45～14:10 木造住宅の振動台倒壊実験

腰原 幹雄 (東京大学)、古屋 治 (東京高専)

14:10～14:25 伝統構法を含む軸組構法木造建物の振動台実験

鈴木 祥之 (京都大学防災研)

14:25～14:45 木造住宅倒壊数値シミュレーション

三宅 辰哉 (日本システム設計)

14:45～15:05 既存木造建物の地震応答観測

林 康裕 (京都大学防災研)、入江 康隆 (宇都宮大)

15:05～15:15 既存木造住宅から抽出した構面試験体の振動台実験

槌本 敬大 (建築研究所)

15:15～15:30 休憩

15:30～16:00 事前対策

目黒 公郎 (東京大学生産技術研究所)

16:00～16:10 今後の計画 (前回打ち合わせの報告、三木実験)

箕輪 親宏 (防災科研)

16:10～16:55 全体討論

司会: 箕輪 (前出)、五十田 (前出) 書記: 西山 (前出)

16:55～17:00 まとめ

坂本 功 (防災科研・東大)

(各成果報告では、5分の質疑時間をとります)

17:15～ 懇親会 (1時間程度)